

中学生のみなさんへ（パートⅡ）
～高校選びへのアドバイス～

中学生のみなさん、こんにちは。

みなさんも知っているように、高校にはたくさんの種類(タイプ)があります。たとえば、「〇立」高校で分けると、「公立」と「私立」になります。また、「公立」には、神奈川県なら「県立」と「市立」があるので、「〇立」高校で分けると、

「県立〇〇高校」

「〇〇市立〇〇高校」

「私立〇〇高校」

になります。さらに、「県立高校」では「課程」という分け方をすると次の4タイプになります。

全日制 (141校)

定時制 (20校)

通信制 (2校)

中等教育学校 (2校)

そしてさらに、この中の「全日制」の高校は次の3タイプに分けられます。

普通科高校

総合学科高校

専門学科高校

そしてさらに（もう頭が痛くなってきたかな）、「普通科」高校では次の2つのタイプに分けられます。

「学年制」普通科高校

「単位制」普通科高校

そしてさらに（もう意識がなくなってきたかな）、「単位制」普通科高校の中には、「単位制普通科フレキシブルスクール」というタイプの高校があります。

このように、多くのタイプの高校がある中で、受験校を「1校か2校」に決めるのは大変です。決めるための条件もたくさんあります。成績、通学時間、費用、卒業後の進路、校風、部活などがあると思いますが、この中であまり考えていないのが「卒業後の進路」

ではないでしょうか。

「そんなの、まだわかんないよ～」

「大学進学するつもり」

「就職かな・・・」

今の日本ではお金さえあれば誰でも大学や専門学校に入学することができます。しかし、問題は、経済がとても不安定な日本では、いまお金(家庭の収入)があっても、3年後にも同じだけのお金があるとは限らない、ということです。つまり、3年後にも「進学」を選ぶかは、「そんなの、まだわかんないよ～」なのです。

いま高校生の2人に1人が大学に進学しており、大学卒業後の就職はとても厳しいものになっています。大手企業や有名企業に入社できる人はほんの少力で、5人に1人は大学卒業後に就職も進学もできないのです。

では、高校卒業後の就職はどうでしょうか。こちらも厳しいです。しかし、「工業系」の専門高校はとても就職に強く、ほぼ100%内定をもらいます。また、成績がよい生徒は、大学や大学院を卒業しても入社がとても難しい大手企業に就職をしています。さらに、工業系の高校では、専門分野に関する研究をする体験型授業が多くあり、その研究成果を大学入試(AO入試)に活かせるという、大きな強みがあります。

「そんなの、まだわかんないよ～」。先の見通しがむずかしい時代ですから、高校卒業後の進路については「進学」と「就職」の両方を想定しておくことが良いと思います。そのためには、どちらも希望が持てる高校を選択しておいたほうがよいということです。このことは、工業系の専門高校である本校をアピールしているというだけではなく、日本の経済情勢や高校・大学卒の就職状況を冷静に見てアドバイスをさせてもらっているのです。

このアドバイスが、少しでもみなさんの高校選びの参考になれば幸いです。

2013年9月

角田